

A区分・C区分共通
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和7年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

別添	なし
----	----

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	演劇	種目	演劇
----	----	----	----

応募区分(応募する区分を選択してください。)

応募区分	A区分
------	-----

複数応募の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、応募企画数から除く

複数応募の有無	有	応募総企画数	3企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しても、複数の企画を実施可能
--------------------	--------------------------

文化芸術団体の概要

ふりがな 制作団体名	かぶしきがいしゃげきだんげいゆうざ		団体ウェブサイトURL
	株式会社 劇団芸優座		http://www.geiyuza.com
代表者職・氏名	代表取締役・平塚仁郎		
制作団体所在地	〒 182-0025	最寄り駅(バス停)	京王多摩川駅
	東京都調布市多摩川2-28-4		
電話番号	042-489-4555(代)		
ふりがな 公演団体名	げきだんげいゆうざ		団体ウェブサイトURL
	劇団芸優座		
代表者職・氏名	代表取締役・平塚仁郎		
公演団体所在地	〒 182-0025	最寄り駅(バス停)	京王多摩川駅
	東京都調布市多摩川2-28-4		
制作団体 設立年月	昭和47年 11月		
制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等
	代表取締役 取締役 監査役	平塚 仁郎 村田 里絵 平塚 奈々 川口 勝也 平塚 キク	制作部 7名 文芸演出部 3名 俳優部 32名(他に研究生) 加入条件:18歳・高卒以上 (制作は面接、俳優はオーディションで選考)
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	事務(制作)専任の担当者を置く	本事業担当者名	村田 里絵
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者	伊澤 智子
本応募にかかる連絡先 (メールアドレス)	geiyuza@mri.biglobe.ne.jp info@geiyuza.com		

<p>制作団体沿革・ 主な受賞歴</p>	<p>昭和47年に(株)総合プロモーションを設立後、舞台やTV番組の制作をはじめ広いジャンルでの活動をしつつ、「面白く確かなテーマで」を創造理念として劇団を創設しました。以来「児童青少年の為だからこそ最高の演劇を」と、総合芸術である舞台劇の魅力を最大限伝えるべく全国で公演を続けています。平成3年、(株)劇団芸優座と改称し、平成10年より事務所・稽古場を現在地に構えています。劇団として、常に高い専門性を維持するために、新人から中堅・ベテランに至るまで、発声・歌・ダンス・日舞等、専門家の指導の下での基礎訓練を重ねると同時に、児童青少年から大人一般まで、それぞれを対象とする様々な作品の自主公演実施など、日常的な鍛錬を日々欠かしません。おもな受賞歴としては、厚生労働省社会保障審議会推薦「一休さん」等の他、代表・平塚仁郎が令和5年度文化庁長官表彰を、副代表・村田里絵が令和6年度O夫人演劇賞を拝受しました。</p> <p>(公社)日本児童青少年演劇協会・(公社)日本劇団協議会・児演協等 加盟</p>																																				
<p>学校等における 公演実績</p>	<p>令和6年度上演中の小学生向けレパートリーは7作品。「天狗山のトロップ」は昭和47年の初演以来、既に2000ステージを超え、「パパはマジシャン」は平成18年度「本物の舞台芸術体験事業」で採択されました。令和元～6年「文化芸術による子供育成総合(推進)事業～巡回公演事業」で採択された「一休さん」のほか、「グリムのハンスと大悪魔」「秘密のロビンの大冒険」「角～いじめっ子姫の物語」は好評を頂き続演中。自由な構成と新たな手法で注目された「絵本の扉～新美南吉篇」や「ママの思い出」も公演数を伸ばしています。</p> <p>令和5年度、劇団レパートリー12作品の実績は、全国で合同公演も含め、高校49回、中学校17回、小学校46回、教育委員会主催公演・公文協など45回。</p> <p>作品ごとの、過去10年間の公演実績は以下の通り</p> <table border="0" data-bbox="411 1238 1372 1585"> <tr> <td colspan="2"><小学校向け作品></td> <td colspan="2"><中学校・高校向け作品></td> </tr> <tr> <td>天狗山のトロップ</td> <td>228回</td> <td>ベニスの商人</td> <td>904回</td> </tr> <tr> <td>グリムのハンスと大悪魔</td> <td>253回</td> <td>アンクルトムの小屋の灯に</td> <td>143回</td> </tr> <tr> <td>パパはマジシャン</td> <td>154回</td> <td>最後の一葉</td> <td>250回</td> </tr> <tr> <td>秘密のロビンの大冒険</td> <td>188回</td> <td>チェーホフ先生こんにちは</td> <td>71回</td> </tr> <tr> <td>一休さん</td> <td>448回</td> <td>それぞれの絆</td> <td>25回</td> </tr> <tr> <td>角～いじめっ子姫の物語</td> <td>381回</td> <td>昇らぬ朝日のあるものを</td> <td>51回</td> </tr> <tr> <td>絵本の扉</td> <td>41回</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ママの思い出</td> <td>17回</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	<小学校向け作品>		<中学校・高校向け作品>		天狗山のトロップ	228回	ベニスの商人	904回	グリムのハンスと大悪魔	253回	アンクルトムの小屋の灯に	143回	パパはマジシャン	154回	最後の一葉	250回	秘密のロビンの大冒険	188回	チェーホフ先生こんにちは	71回	一休さん	448回	それぞれの絆	25回	角～いじめっ子姫の物語	381回	昇らぬ朝日のあるものを	51回	絵本の扉	41回			ママの思い出	17回		
<小学校向け作品>		<中学校・高校向け作品>																																			
天狗山のトロップ	228回	ベニスの商人	904回																																		
グリムのハンスと大悪魔	253回	アンクルトムの小屋の灯に	143回																																		
パパはマジシャン	154回	最後の一葉	250回																																		
秘密のロビンの大冒険	188回	チェーホフ先生こんにちは	71回																																		
一休さん	448回	それぞれの絆	25回																																		
角～いじめっ子姫の物語	381回	昇らぬ朝日のあるものを	51回																																		
絵本の扉	41回																																				
ママの思い出	17回																																				
<p>特別支援学校等における 公演実績</p>	<p>新型コロナ感染症感染拡大の影響もあり、この作品における直近の公演実績は令和6年度の紋別市立養護学校のみですが、過去においても、それぞれ各校の実情に合わせ、先生方と共に力を合わせ、公演を成功させてきました。何より大切なのは入念な事前の打ち合わせと準備であり、結果的には公演をはじめワークショップも、ほぼ当初計画の通り実施しています。例えば公演については、聴覚障害のある生徒さんには字幕スーパーや手話を準備、視覚障害のある生徒さんには、音楽性を重視し、実際に舞台上がってもらうなど事前事後の指導を徹底し、肢体不自由の生徒さんには車いすの為の段差を観客席に設けるなど工夫してきました。また、ワークショップ・共演についても、先生と一緒に同じ役を演じて頂いたり、柔軟に変更しながら、様々な状況に応じ、最大限に実現しています。</p>																																				

参考資料の有無	申請する演目のWEB公開資料	有	
	※公開資料有の場合URL	https://youtu.be/pFeRy-rzxGc 上記公開された「絵本の扉」の構成は、 第一幕「手袋を買いに」 第二幕「うた時計」 第三幕「花のき村と盗人たち」 となっています。	
	※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:	なし
		PW:	なし

別添	あり
----	----

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 劇団芸優座】

対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○	中学生	○

企画名	日本の名作をお芝居で楽しもう！
-----	-----------------

企画のねらい	常に「初めて舞台劇を見る人」の存在を念頭に置いて、惹きつけられるストーリー・確かな演技・オーソドックスで美しい舞台で、まずは面白い芝居を観て頂き、鮮烈な鑑賞体験とすることを目的とします。さらに「体験」も、様々な目的や手法はありつつも、最終的には、演劇の本質に触れて頂くことを目的とします。作品テーマには教育的効果も期待しつつ、まずはこの原作童話の美しい日本語、描かれた美しい日本の自然や文化について再注目して頂くことを目指します。
--------	---

演目概要・演目選択理由	<p>演目概要 (別添1参照)</p> <p>夭折の童話作家・新美南吉の名作を厳選し、オムニバスで綴ります！</p> <p>それぞれ、南吉の作品を幾つか盛り込んだ芸優座オリジナル脚本です。彼の童話世界に豊かに繰り広げられる、人間と動物たちが共生する懐かしく優しい自然界を描きます。そこにある命の尊さ美しさ、温かい南吉の眼差しそのままを堪能して頂きたいと思います。また、本を読む楽しさとお芝居の魅力を同時に発見して頂きたいと発信します。体育館でつくられる美しい本格的な舞台、衣装、音楽…その全てにご注目ください。</p> <p>それぞれの年齢層に相応しいテーマがあります！</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎次の一歩を勇気をもって踏み出そうという時…親と子の絆をあらためてみつめます。 ◎お互いを分かり合いたいと思う時…自然と共に、他者と共に生きることを改めて考えます。 ◎人に信じてもらえる喜び…「信じる」ことと同時にあるその意味や力みつめます。 <p>演目選択理由 (別添2参照)</p> <p>公演の目的に合わせて・・・生徒さんの創造力・想像力を培い、コミュニケーション能力の向上と同時に、「演劇の楽しさ」を知ってもらうことで、将来の演劇観客人口の育成を図ることを目的とした作品を選定。</p> <p>事業効果の向上を図るために・・・生徒さんと共に、保護者の皆様など大人も楽しめる作品を選定。</p> <p>第三者の評価から・・・公益社団法人日本児童青少年演劇協会主催「児童青少年演劇地方巡回公演」において、特に芸術的にも教育的にも効果が高いとの評価を得た作品を選定。</p>
-------------	---

	<p>「共演」「参加」体験の具体的なプランについて</p> <p>舞台芸術は観客と共に創るもの…そこへ向かうことが「体験」の根幹と考え、だからこそ、「共演」を大事な手段として選びます。友達が舞台上に登場すれば、舞台がさらに身近に感じられるでしょう。共演などを体験して下さった生徒さん方にとって、舞台上上がるその高揚感、緊張、そして達成感はいずれも貴重な経験となり、さらにそれが、これから舞台芸術の世界を目指すきっかけにして頂けたら…そう願っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ✿ 共演・参加する生徒さん方もしっかり鑑賞できるよう工夫しています。 ✿ 共演・参加がなくても、作品としては成立しています。
--	--

児童・生徒の参加又は体験の形態

俳優として共演・・・ 2場面(希望によってアレンジ可)。衣装もメイクも本格的。エキストラにはさせません！

- 第一幕 「放し飼い子犬探検隊」として4名程度
- 第二幕 「村の子供たち」として2名程度

俳優以外でも・・・ 歌での参加(1～数名) ● 第一幕の幕切れで子守歌1曲(1名は子守の衣装)
朗読での参加(4名程度) ● 第二幕冒頭で、新美南吉の詩を朗読(衣装・メイクあり)

簡単なセリフと動きを覚え、朗読や歌の練習をして頂きますが、一番大事なことは「間違えない」ことではありません。役に扮する事を体験する中で、**自分らしさを知り、それを表現する事の楽しさ、積極的にコミュニケーションを図り、互いを信頼することの大切さ、共に創り上げること、そして、演劇の面白さを実感して頂くこと**です。
単なるエキストラではなく、衣装もメイクもきちんと頂き、あくまでも共演者として、出演して頂きます。終演後は扮装のまま**記念撮影**をします。



カーテンコールの練習

全員参加！・・・ 第一幕の終わり、歌で参加。第二幕では声を合わせてのセリフがあります。

スタッフとして参加・・・ 劇中の演出効果を高めるための手伝いや、開演前や幕間のアナウンス、小道具・衣装の確認・管理や舞台転換の手伝いなど、舞台の裏方の仕事も2～4名体験できます。**舞台芸術は俳優だけでは完成しない**のだということ、力を合わせて一つのものを創り上げる喜びを是非とも感じて頂きたいと思います。

その他の体験(バックステージツアーや交流会)・・・ お別れのその時まで！

舞台を一層身近に感じてもらえるよう、上演後の**バックステージツアー**や、俳優達との**交流会・俳優や演出家への質問会**などが実施可能です。

また、条件次第ではばらし作業の見学や「お手伝い」もできます。

「劇場」が、いつもの体育館へと戻っていく様子を目の当たりにするのも、貴重で楽しい経験だと思います。



ばらし作業の手伝い

児童・生徒の参加可能人数	本公演	参加・体験人数目安	共演は6～20名程度(第一部は全校対象)
		鑑賞人数目安	50～1000名程度
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p style="text-align: center;">えほん とびら 『 絵本の扉 』 原作 新美南吉</p> <p style="text-align: center;">第一幕「手袋を買いに」 ・ 第二幕「花のき村と盗人たち」 脚本 平塚仁郎 演出 村田里絵 (途中休憩10分あり)</p> <p style="text-align: right;">公演時間 6 5 分</p>		
出演者	<p>南 幸男 紺谷洋平 池田文則 山際光次 貞方由香里 松本和也 百瀬 豊 阿槍奈美 山田悦子 横田明日香</p>		
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名	<p>脚本 平塚仁郎(劇団代表・俳優・演出家) 演出 村田里絵(劇団副代表・脚本家) メインキャスト 南 幸男(劇団俳優部所属・舞台監督兼務・在団30年) 紺谷洋平(劇団俳優部所属・東北大学後ロンドン・アート・アカデミー終了)</p>		
本公演 従事予定者数(1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含 ま	<p>出演者: 10 名 スタッフ: 3 名 合 計: 13 名</p>	運搬	<p>積載量: パン 3t 車 長: 4.99m 6.09m 台 数: 2台 1台</p>

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み	無	前日仕込み所要時間		時間程度	
	到着	仕込み	上演	内休憩	撤去	退出
	8時	8～10時30分(共演生徒さんの リハーサル10時30分～12時)	13～14時05分	10分	14時30分～16時	16時30分

※本公演時間の目安は、午後、概ね2時間分程度です。

本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期について は、採択決定後に確認し ます。(大幅な変更は認め られません)	6月	7月	8月	9月
	21日	17日	5日	20日
	10月	11月	12月	1月
	22日	18日	17日	15日
※平日の実施可能日数目安をご記載ください。			計	135日

第一幕 「手袋を買いに」



子狐は、町の帽子屋へ



体育館で仕込み中



公演に係るビジュアルイメージ
(舞台の規模や演出が
わかる写真)

いずれも、ステージのない体育館では、フロアに
仕込むことができます。

第二幕 「花のき村と盗人たち」



花のき村にやってきた盗人たち

※採択決定後、図
面等の提出をお願い
します。

著作権、上演権利等 の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要 否	該当なし	該当コンテンツ名
	該当事項がある 場合 権利者名		許諾確認状況

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
----	----

【公演団体名 劇団芸優座 】

<p>ワークショップの ねらい</p>	<p>ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ①児童・生徒の想像力・創造力を培う ②児童・生徒のコミュニケーション能力の育成を図る ③児童・生徒の自己肯定感を高め、自主的自発的に行動する力を養う ④演劇の楽しさを知り、将来の演劇の観客人口の育成を図る <p>◎事前の鑑賞指導</p> <p>作品の背景等を知ること、積極的で深い鑑賞が可能となり、より楽しめます。</p> <p>鑑賞体験が楽しかったという経験こそが、将来の良き観客や担い手を生み育むと考え、ワークショップの段階から豊かな時間になるよう工夫します。</p> <p>◎一緒に動いてみよう！</p> <p>体験・共演を通じて、舞台芸術が身近になるでしょう。覚えた事を間違えないようにやるのが目的ではなく、自ら心身共に解き放って、自分を表現する事の喜びこそを経験して頂きたいと思います。</p> <p>同時に、短時間に他者と協力関係を築く為にまずは一緒に動くことから始めるのですが、共に何かを創り上げるという経験はコミュニケーション能力の向上に繋がります。</p> <p>✿結果として・・・ 実施後、多くの学校で、「児童・生徒たちの、これまで学校や授業では見せたことのない顔が見られた」「思いがけない生徒が参加を希望し、生き生きと活動し、驚かされた」といったお声を度々頂きます。ワークショップの大きな意義がここにもあると思えます。</p>		
<p>児童・生徒の 参加可能人数</p>	<p>ワークショップ</p>	<p>参加人数目安</p>	<p>第一部:全校生徒 第二部:6~20名程度</p>
	<p>実施形態について</p> <p>第一部(45~50分)・・・全校対象に体育館で、事前鑑賞指導・実技の体験・全体参加の練習 第二部(60~90分)・・・共演生徒さんを対象に体育館・大教室等で、共演の為の演技指導</p> <p>実施内容について</p> <p>●鑑賞指導</p> <p>プロジェクターでの美しい映像を見ながら、作品の粗筋やテーマ・見所、時代背景や舞台となっている場所、作家の生涯についてなど、簡潔に説明します。さらに、舞台芸術が「観客と共に創造していくもの」である事を経験して頂きたいと願い、「生の舞台芸術」を鑑賞するポイントについてお話します。所要時間は15分程度です。</p> <div data-bbox="1085 1500 1388 1702" data-label="Image"> <p>プロジェクターで写真を見ながら、作品の解説を聞いています。</p> </div> <p>●実技指導</p> <p>第一部では、30分程度、俳優たちが日々実践している発声・発音の練習、呼吸法や準備運動等を紹介し、実際にやってみます。最後に、全体参加の部分の練習をします。</p> <div data-bbox="478 1836 766 2016" data-label="Image"> </div> <p>第二部では、共演する生徒さんのみを対象に、まずは前半、ウォーミングアップとチームビルディングとして、簡単なインプロゲームをいくつか体験します。目的をはっきりもって、意識的に動いて頂けるよう工夫しています。続いて、身近なシチュエーションを用いて、誰にでもできるシンプルで簡単なエチュードなど、演技するための具体的な訓練を体験します。</p>		

ワークショップ
実施形態及び内容

後半は、「出演シーン」を公演のDVDの映像で確認し、イメージが湧いたところで、共演内容ごとに分かれ、**お芝居など本公演ためのお稽古をします。**特に予習は必要ありません。各役の置かれている状況についての解説を聞いた後、それぞれのセリフや動きを覚えたり、生徒さん方ご自身のアイデアを大切にしながら、その役について研究します。



ここまでで既に劇団員とも連帯感が生まれ、リラックスしたムードでお稽古は進みます。本番前の緊張も良い経験ですが、あくまでも楽しい体験となるよう、生徒さん方が自信をもって当日を迎えられるよう配慮します。最後に、衣装合わせと打ち合わせ(メイクは当日のみ)をして終了です。

- ❁ **「俳優さん」以外**をご希望の児童・生徒さん方も、第二部前半までは一緒に参加して頂きますが、その後はそれぞれ分かれての練習になります。
「歌」や「朗読」をご希望の生徒さん方は、事前に楽譜や原稿をお送りしますので、それ元に練習し、さらに舞台への出入りを確認します。当日の衣装やメイクは「俳優さん」と同様ご用意してあります。
「スタッフ」は、舞台や大道具についての説明を受けた後、仕事の役割分担をし、「場内アナウンス」などの練習をします。舞台芸術は俳優だけでは完成しないのだということ、力を合わせて一つのを創り上げる喜びを是非とも感じて頂きたいと思います。

- ❁ 全体参加の内容については事前にお打合せをします。参加は2シーン両方、あるいはどちらかを選んで、また参加がなくても舞台は成立します。

その他ワークショップに
関する特記事項等

学校のニーズに対応！

第一部の全校向けの演劇体験では、演劇部のみならず文化祭・発表会など、まさに今必要とされていることについて具体的にアドバイスをすることやご指導も可能です。

また、演劇的アプローチにより、授業などでの発表や朗読、大勢で声を合わせるコツなど、様々な**学校の日常のシーン**において「効果」を上げる方法が体験できます。具体的には発声法の他、注意の集中、リラックスして本番で実力が発揮できるようにするための練習などがご提案できます。

事前の打ち合わせで学校のご希望をうかがい、独自のプログラムを作っています。

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
----	----

本事業への応募理由

【公演団体名

劇団芸優座

】

①本事業に対する取り組み姿勢

人生を豊かにし、生きていく支えともなる芸術、ことに演劇からは、一人で生きる時も人と生きる時も、その為に必要な知恵や勇気や想像力が得られると信じます。そんな演劇とすべての子供たちに出会って頂きたい。その最も有効で価値のある場は、子供たちの日常である学校の時間の中での、しかも身近な体育館での出会いであると思います。そしてそれは、彼らの**芸術鑑賞能力の向上と、発想力・想像力をも育む**と信じます。

劇団創設以来50年、学校演劇教室・芸術鑑賞教室に携わり、作品を創り続けてきましたが、それゆえ、殊に体育館での上演には拘りを持って来ました。「体育館を劇場に」という私共の信念、経験・実績はこの事業に大いに生かせるものと確信しております。

また、この事業の目玉ともいべきワークショップと体験ですが、**事前交流と鑑賞指導**は、非常に**積極的で深い鑑賞**につながり、さらに、同校の生徒さんや先生方が共演するというのが、芸術そのものを身近にし、本番を益々楽しみなものにします。また、演劇とは何かを知ること、実技を体験することは、**将来の俳優や舞台芸術にかかわる芸術家を生むきっかけ**となり得、意味深いものですが、たとえ出演が短い、部分的な場面であっても、**共に創りあうこと、実現させることの充実感や達成感、楽しさ、喜び**は大変貴重な経験になるでしょう。それはまさに**次代の文化の担い手**、芸術を享受し支えていく者を育てることにもつながると信じます。ワークショップや共演の内容においても、その経験が**子供たちのコミュニケーション能力の向上**そのものにも資する様、常に反省と工夫をし、生きたものにするべく努力します。

さらに、単に学校に劇団が来て公演をするということだけではなく、学校内で先生方以外の、**信念や夢を持ってその仕事に取り組む大人の姿**として、生徒さん方の将来へのメッセージになるのではないのでしょうか。

非常に忙しい学校現場で、**演劇教室**の意義や必要性をより一層ご理解頂ける絶好の機会としても、私共の創りうる最高の舞台をご覧いれなくてはならないと思っております。

この事業を通してもたらされる「ふれあい」「発見」「協調」、そして「創造」・・・それらは、学校生活のほんの一頁を飾るにすぎない、学校行事の一つかもしれません。でも、特別な輝きを持つものとして生徒さんたちの心に残したい・・・その為に、特にワークショップの内容は、**各学校の現状に則した効果的なもの**になるよう努めます。

②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫

●**なにより事前の打ち合わせを大切にします**

生徒さん方に満足して頂ける、**その学校らしい体験・鑑賞にしたい**・・・そのために最も重要なことは、**学校それぞれの独自性や豊かな多様性**を、私共がいち早く知り、少しでも理解することだと考えています。そこで、ワークショップや公演について、担当の先生方との事前の打ち合わせを、何度でも丁寧に行います。何を指すか、どんな効果を目標にするか、先生方と沢山お話をさせて頂き、「学校」と劇団が共に創る、その過程を大切にします。

★まず文書で、ワークショップと本番の公演の内容、スケジュール、学校側にご準備頂く事や物、劇団側が持ち込む機材等や会場条件などを、出来るだけ具体的にお知らせします。

★その後、電話・メール等で疑問点や必要事項、ご希望などをうかがい、それらを基に、ワークショップの実施前に、直接お目にかかって打合わせをします。

★連絡・打ち合わせを綿密にするは重要ですが、日常的にお忙しい先生方にとって必要以上負担にならないよう配慮します。

本事業に対する
取り組み姿勢、および
効果的かつ円滑に実施
するための工夫

◎ワークショップについて

その時間を安心してお任せ頂けるよう、内容・進行予定など、先生方には具体的に説明いたします。その上で、ご希望をうかがい、それぞれ学校の状況に応じた、各校**オリジナリティーのある形で実現**できるよう努めます。

◎継続的なサポート

ワークショップから本番までの間、**共演内容**についての打ち合わせや確認、当日を楽しみにお待ちしておりますので、**公演の「宣伝」**のご協力など、連絡を途絶えさせないようにします。

◎公演について

これまで50年にわたり体育館で公演し続けてきたそのノウハウには自信がありますが、さらにそれぞれの体育館の条件の許す限り、最大の効果が上がるよう、舞台監督等が**下見をさせて頂いた上で入念に計画を練ります**。

また、児童・生徒さん方のお休み時間や登下校時間を念頭に置き、車両等は安全第一を心掛け、私共の行動経路の限定、体育館における気温や換気への配慮、生徒さん方の入退場や座席の位置について等々、綿密にご相談いたします。

リンク先	No.2	【公演団体名	劇団芸優座 】
演目概要	<p>あらすじ</p> <p>第一幕 「手袋を買いに」</p> <p>ある雪の日、母狐は、いつまでも甘えん坊の子狐に、いつかは独り立ちしなくてはならないことを教えようと思ひ立ち、怖い人間が住んでいる町まで、坊や一人で手袋を買いに行かせることにします。母狐は子狐の片方の手だけ「人間の手」に変え、お店での買い物のしかたを教え、子狐は勇気を奮い立たせ出かけますが……</p> <p>はたして手袋は無事に買えるでしょうか。</p> <p style="text-align: right;">（「狐」「手袋を買いに」より）</p> <p>第二幕 「花のき村と盗人たち」</p> <p>花のき村に5人の盗人たちが一仕事しようとやってきた！ でも、かしら以外は全員ド素人で、みんな前の仕事の癖が抜けきれず、まともに見すらできない始末。子分たちを叱りつけ、再び村へ行かせます。すると、かしの元に突然小坊主がやってきて、とんでもないことを頼み込んだかと思うといなくなってしまう。そのうえ、今度は白髪の老女が現われて……やがて帰ってきた子分たちは、かしの様子がおかしいことに戸惑いますが……</p> <p>はたして、花のき村の運命はどうなるのでしょうか。</p> <p>テーマについて</p> <p>明快で共感できるテーマがあります！</p> <p>◎ 全編を貫く「親子の情」……</p> <p>新しい世界へ飛び込んで行こうという時、近くにいっても遠くにいっても、見守る親の眼差しはきっとすぐ近くある。そして、それさえあれば、自分を信じ、勇気をもって一歩踏み出せるに違いありません。それはどんな時代でも、大人になっても変わらないのではないのでしょうか。この物語を通じて、どんな時も自分を信じてくれる人の存在のあることを、忘れずに欲しい……そんな願いを込めて演じます。</p> <p>◎ 第一幕から 「人間っていいものかしら……」</p> <p>この母狐の一言は、自然との共生への思いを象徴しているように思えます。また同時に、他者と分かり合うことの難しさも表しているようです。狐の親子も人間の親子も、その愛情に変わりはないというのに……。</p> <p>またこれは、かつて怖い思いをしたゆえの一言であるわけですが、首尾よく手袋を買うことのできた子狐が、「人間は親切だ」と言うのに対して、自分の考えを押し付けるのではなく、むしろ自分を疑っています。そんな、南吉の柔らかい心のありようも感じてほしいと思います。</p> <p>◎ 第二幕から 人に信じてもらえる喜び！</p> <p>生まれながらに悪い人はいないという南吉の思いは、きっと人はみな、美しい心には美しい心で応じたいのだと信じることに通じると思います。盗人の親方のように、誰かに信じてもらえる喜びは、生き方そのものを変える力がある、そのことを知ってほしいと思います。</p> <p>★美しい日本語の世界</p> <p>幕が上がると舞台には、かつて日本中どこにでもあった美しい情景が広がります。人間も狐や動物たちも、それぞれの絆を大切に日々を丁寧に生きていました。新美南吉が描く、そんな忘れかけた日本の姿、その美しい日本語を味わい、発見して頂きたいと思います。それがまた、日本の自然や文化を今一度見つめなおすきっかけになると信じます。</p>		

別添 ※別添は1企画につき3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先	No.2	【公演団体名	劇団芸優座 】
演目選択理由	<p><公演の目的に合わせての作品選定></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ この作品は、演劇としての「観る楽しさ」と共に、その体験をもとに、活動を様々な方向に広げ、深めていくことができます。まずは、新美南吉の原作に触れて頂くことを強くお勧めし読書体験との相乗効果を実感して頂きたいと思います。さらに他の作品の面白さを発見したり、さらに、たとえば作者や時代背景について調べることが、作品の理解を深めることを経験したり、その「調べること」そのものの楽しさをも知る機会にして頂ければと願っています。 <p>また、ワークショップでは、発声やリラックスと集中の練習など、文化祭や発表などだけでなく、日常の学校生活でも、具体的に役立てて頂けるような取り組みもします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 対象を「小学生低学年から中学生」としていますが、それぞれの年齢層に響く深いテーマがあることと、芝居に見応えがあり小学校1年生から大人まで、楽しく、しっかりと鑑賞して頂いている実績があります。 <p><事業効果の向上を図るために></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 観劇後、みんなで考え、語り合おう…どちらの作品にも、ふと誰かの温かい手を思い出す瞬間があると思います。生きる世界も時代も違えど、あらためて親と子の絆をみつめなおして頂きたい。そして、恐れることなく人を信じ、恐れることなく新しい世界へ飛び出して行ってほしい、そんな願いのもと、この作品は制作されました。文字通り、「子供から大人まで」観劇した人みんなで、深く考えたり語りあえる作品です。 <p><第三者の評価から></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 公益社団法人日本児童青少年演劇協会主催「児童青少年演劇地方巡回公演」においても、いずれの作品も高い評価を得ています。令和7年度は、中学生向け5作品から、特に芸術的にも教育的にも効果が高いとの評価を得た作品を選定しました。 ○ 初演以来、全国の小・中学校や鑑賞会等、多くの方々をご覧下さり、ご好評を頂いています。「体育館を劇場に」と、あくまでもオーソドックスであることに拘った美しい舞台、明確なテーマとテンポの良い分かりやすいストーリーは、初めて舞台劇を観る方にも、その魅力をしっかり感じて頂けるものと信じます。また平易で分かりやすいセリフと、童話の世界を損なうことなく表現する動きで、低学年の生徒さんも十分楽しめます。 		